



総合的な学習（探究）づくりをお手伝いします

アドバイザー  
謝金・旅費  
負担なし

# ESDアドバイザー派遣

持続可能な開発のための教育（ESD）の導入や実践、現場の課題解決をしたい  
学校教育・社会教育関係の皆様へ、アドバイザーを派遣します

総合的な学習  
（探究）の設計に  
アドバイスが欲しい

「主体的・対話的  
で深い学び」を  
促すには...

ESDの基本的な  
考え方と具体的な  
取り入れ方は？

## 支援内容

- 総合的な学習（探究）の時間の設計に関する個別相談
- ESDに関する知識や実践方法を共有する教員研修/ワークショップ
- 地域と学校の連携にむけたアドバイス

など

## 私たちアドバイザーが応援します！

※五十音順、所属は2025年5月現在



おおつ かずこ  
**大津 和子さん** 北海道教育大学 名誉教授

【キーワード】主体的・対話的で深い学び/SDGs/国際理解教育

SDGs、ESD、国際理解教育に関わる研修の進め方のほか、これらのテーマについて講演やワークショップを行うことができます。



かなざわ ゆうじ  
**金澤 裕司さん** 持続可能な開発のための教育推進会議（ESD-J）理事/  
（前 羅臼教育委員会 自然環境教育主幹）

【キーワード】自然と人間/地域の持続的発展/総合的な学習による学力向上

「一人も取り残さない」というSDGsの目標達成のためにはあらゆる学びの中心にESDを据える必要があります。ESDによって価値観、行動、ライフスタイル、生き方などあらゆる事が密接に関連している事実を理解し、学ぶ意欲が触発されます。



さたけ あきひろ  
**佐竹 輝洋さん** 札幌市環境局 円山動物園 保全・教育担当係長/  
北海道大学大学院 環境科学院 非常勤講師

【キーワード】気候変動対策/環境教育/SDGs/フェアトレード/まちづくり

持続可能な社会の形成のためには気候変動などの地球規模での環境問題をはじめとした様々な課題と私たち自身の関係を理解し、地域や身近な社会において自ら行動していくことが求められます。そのために必要な視点について、講義やワークショップ等でお伝えします。



まつだ たけし  
**松田 剛史さん** 旭川市立大学 非常勤講師/  
NPOソーシャルベンチャーあんじょう家本舗 代表

【キーワード】カリキュラム・マネジメント/PBL/SDGs/教育課程

SDGs達成年の2030年に向けて、私たちのソーシャルデザインを考える講話やワークショップをいたします。

申請方法は裏面へ



## 制度の利用方法

### 📖 派遣の対象

学校教育関係者、社会教育関係者及び実践者

※学校教員や社会教育関係者のための制度です。児童・生徒向けの授業等を行うものではありません。

### 📖 派遣の方法

対面の他、オンライン（zoom）、ハイブリットも対応可能です。

※ハイブリットの場合は通信関係の準備・当日の運営はご依頼者の方でお願いいたします。

### 📖 派遣の回数

一団体につき原則年に2回まで。同じアドバイザーを2度派遣することも可能です。  
1回につき2時間を予定しております。

ただし、センターが必要と認めた場合はこの限りではありません。

### 📖 費用について

アドバイザーの旅費及び謝金はセンターが負担します。

その他必要となる費用につきましては申請者でご負担ください。

本制度は予算の都合上、年度途中で終了する場合があります。ご了承ください。

### 📖 制度利用の流れ

「申請書」に必要事項を記入しEmailもしくはFAXにて申込（希望日の1カ月前まで）



おおむね3営業日以内にセンターより派遣の可否の連絡



アドバイザーの派遣



成果や感想を「報告書」に記入し、センターに提出（派遣後1カ月以内）



（ESDアドバイザー制度）



「申請書」はウェブサイトから入手可能です  
[https://hokkaido.esdcenter.jp/hot\\_topics/esd-adviser/](https://hokkaido.esdcenter.jp/hot_topics/esd-adviser/)

## 制度の活用例

### ○校内教員研修（学校主催）

対象者：教員

内容：「主体的・対話的で深い学び」の促し方、授業におけるESDの扱い方について

感想：各教員が授業イメージを持ち、すぐに指導に生かせる講義内容であり、具体的手立てや指導の見通しが持ちやすくなった。

### ○教員研修（教育研究会主催）

対象者：学校関係者、市町教育委員会社会教育担当者

内容：SDGsの達成状況を踏まえた地域や学校でのプログラム展開方策について

感想：SDGsの進捗状況を知り、自分事とするための考え方や具体的な手法を体験的に理解できた。

## <問い合わせ・申込先>

### 北海道地方ESD活動支援センター

ESD活動支援センターは、文部科学省と環境省の共同提案により設置されたESD推進のためのプラットフォームです。



〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11 大五ビル7階  
環境省北海道環境パートナーシップオフィス（EPO北海道）内



011-596-0921



inf@hokkaido-esdcenter.jp



011-596-0931



<http://hokkaido.esdcenter.jp/>